

令和2年11月25日

保護者の皆様へ

日本大学医学部長 後藤田 卓志
学務担当 日躰 智明
学生担当 羽尾 裕之

新型コロナウイルス禍における授業の進め方と安全対策について

拝啓 深秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルスの流行に対応し、本学部では4月より主にオンラインでの授業を行って参りました。しかし、実習や試験などを完全にオンラインで行うことはできず、一部は登校による対面式授業を行っております。前学期の授業アンケートにおいては、オンライン授業に関する期待や不安、心配の声など様々な意見を頂戴しました。新たな授業形態の導入と皆さんの健康と安全を最優先する上では、オンラインならではの利点も多く見出すことができましたが、大学教育のなかには学生同士が顔を合わせた上での意見交換や共同作業など対面で学ぶ学修効果や必要性があり、今後でもできる限り感染が拡大しないように配慮しながら、オンラインでの授業と対面での授業を併用した授業運営を行って参ります。本学部では、感染のリスクを下げるため、マスクの着用、手洗いの慣行、三密の回避等の注意は十分にしておりますが、万一、学生や教職員に感染者が出た場合も適切に対応致しますので、登校しての授業に御理解をいただけますようお願い申し上げます。

学生に、37.5度以上の発熱や、咳、息苦しさ、味覚嗅覚の異常などの症状が出た場合は、決して自分で判断させず、医学部保健室(直通 03-3972-6740, 代表 03-3972-8111 内線 2143)まで電話相談してください。また、同居するご家族が新型コロナウイルスに罹患したり、学生が濃厚接触者となった場合にも同様に電話連絡をお願いします。少しでも疑いがある場合は、校医の判断の下、附属板橋病院での診察や検査を行うのが基本方針です。新型コロナウイルスへの感染が確認された場合は、感染状況や濃厚接触者の探索を行います。そして、医学部・附属病院の専門家の意見を参考に、医学部新型コロナウイルス感染症対策室にて協議し、危険がある場合は躊躇なく対面での授業を停止し、オンライン授業だけにいたします。

感染者に対しては、病状に応じて、大学が責任を持って十分な治療を行います。現在、感染者を責めたり、差別したりすることが社会問題になっておりますが、学生に感染者が出た場合は、プライバシーの保護に万全を期することは言うまでもありません。それだけでなく、医師の道を志す若者に、積極的に人権への配慮を教えて参ります。

幸い本学部生には未だ感染者は出ておりませんが、現在東京では患者数が増加傾向にあります。今後、学生に感染者が出た場合は、安全を第一に考えると共に、感染拡大を防止すべく最新の情報に基づいて対応していく所存です。末筆ではございますが皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

敬具